医療法人社団公佑会広報誌
さくら
No.59 平成30年10月発行
宮崎県えびの市大字大河平4327-37
TEL 0984-33-2127
URL http://www.kyk.or.jp

敬老会

敬老会

9月12日から9月21日の間、公佑会の各施設で敬老会が開催されました。

百歳以上、白寿、米寿、喜寿の方々の紹介を行い記念品の贈呈等の式典、余興、行事食等、どの施設でも皆さん表情良く賑やかに過ごされていました。

この日の為に準備してきた職員の出し物を見て笑い声あり、時にはハラハラする所もありましたが、利用者の皆さんに満足いただけたようです。昼食を松花堂弁当形式で振舞い、「わぁ～すごい」「美味しそう」「全部、食べられるかなぁ」と最後まで良い雰囲気でした。

今回、敬老会に携われた皆様、ご協力本当にありがとうございました。今後も、この時期だけに限らず、常に「敬う気持ち」を忘れずに職員一同関わっていきたいと思います。

長寿者表敬訪問

敬老の日を前に、8月23日にえびの市より長寿表敬訪問がありました。

さくら苑入所者、えびの市在住の方が対象で、長寿を祝う為に村岡市長が来苑されました。今年の当苑対象者は100歳が2名、101歳が3名、104歳を迎えられる方1名の計6名です（他、小林市の対象者が1名いらっしゃいます）。

長年にわたり社会に尽くされた事に対して、感謝と労いの言葉をかけられた後、祝詞と敬老祝金が贈呈され、職員又は家族と一緒に受け取られました。緊張されている方、笑顔が見られる方等、それぞれの思いがあるのだなと感慨深かったです。また、同席された利用者の方からは盛大な拍手が送られ、中には涙されている方もいらっしゃいました。

これからも、利用者の皆さんが健康で、楽しく生活ができるように職員一同、頑張っていきたいと思っております。

今回、表彰された皆様、本当にご長寿おめでとうございました。

さくらの杜活動紹介

さくらの杜では、体操や歌会等、様々な活動を実施していますが、今回は魚釣りゲームを紹介します。

魚釣りゲームを実施するにあたり、まずは魚や釣り竿を作成しました。魚の色塗りは入居者の方々にお願いしました。塗り絵を日頃からされているだけあって、とても上手に色塗りをされ、美味しそうに見える程の出来栄えでした。

魚釣りゲームは時間内に何匹釣れるかを競ったり、魚の裏に点数を記入しているのでその点数を競い合います。魚を釣るまでは真剣な表情で狙いを定め、釣れた時は笑顔で「ふっとかとがつれた」「いっぺんに二匹釣れた」等聞かれました。又、大物の魚が高い点数とは限らないので、大物を釣っても点数が低く悔しそうな表情も見られましたが、小物で点数が高い時は嬉しそうな表情も見られます。

色々なレクリエーションがありますが、一人一人が心から楽しめて、入居者からリクエストが出る程のレク活動を今後も目指していきたいと思います。

さくら苑デイケア活動紹介

デイケアでは園芸活動で、夏野菜（トマト・きゅうり・茄子等）に加え、スイカやメロンも育てています。毎年、夏野菜は豊富に収穫できていたのですが、スイカやメロンはアナグマに食べられたり、小さなスイカしかできず納得いく物ができていませんでした。

今年こそはとスイカの苗を植えましたが、植えた頃は雨の日が多く、日照不足のせいか育ちが悪く心配しました。しかし、梅雨明けからは晴天が続き、ぐんぐん成長していきました。育てている間、利用者の方々もリハビリ室の窓から覗いてみたり、散歩ついでにスイカの出来具合を確認したりして、「楽しみだ」「大きくなってきたよ」と話の材料にもなっていたようです。

7月中旬には無事に収穫。重さが約11kgの立派なスイカとなりました。収穫後は、皆さんと一緒にスイカを持って重さ当てクイズをし、カットを行いました。切った瞬間から、甘く夏を感じる匂いがホール中を漂いました。カットしたスイカをオヤツの時間に振舞い、甘く育ったスイカに、利用者の方も「うんまか！」「大きなスイカが今年はできたね！」と大変喜んでいただけたようです。

その後も、5～6個程実り、今年はスイカの当り年となりました。来年は今年よりも大きなスイカができるように皆さんと一緒に活動していきたいと思います。

京町デイ活動紹介

今回は、レクレーションの中で人気のあるリズム体操を紹介したいと思います。

リズム体操は、脳に大きな刺激となり活性化されて認知症予防につながります。

京町デイサービスでは、いろいろな曲に合わせて体操をしています。単純な動きを繰り返す体操で、合わせる曲は皆さんが知っている童謡や歌謡曲を選曲しています。

特に今人気なのがサザエさんのテーマ曲。グー・チョキ・パーで体を大きく動かし、歌を歌う体操です。

初めは動きがバラバラですが、回数を重ねるごとに動きも大きくなっていき、笑顔も増えて、声もよく出るようになってきました。いつの間にか職員も、皆さんの笑顔や笑い声につられて輪の中に入り、一緒に楽しんで参加しています。

今後も、利用時の笑顔や楽しんで参加できる活動を考えていき、楽しみにして頂けるようにしていきたいと思います。

夏の行事

今年の夏も猛暑が続き各地域で観測史上の気温を更新し、異常気象と言われる程でした。えびの市も県内で一、二を争う気温で屋外だけでなく屋内の活動にも注意が必要でした。ちなみに、えびの市の観測史上もっとも気温が高かった日は、平成6年8月6日の37．9度だったそうです。（気象庁ホームページ引用）

さて今年の夏も涼を求めて、かき氷作りやスイカ割り、七夕など様々な夏の行事を各施設で行いました。

その中でも、公佑会恒例の一番盛り上がりを見せたのがソーメン流しだったようです。竹を使用しての本格的な作りで、次々に流れてくるソーメンを真剣な表情ですくわれていました。普段、食が細い方や夏バテ気味だと言われている方も雰囲気も変わる為か良く食べられていました。

利用者の方から「今年もこの季節がきたね」「楽しみに待っていた」との言葉を頂き、公佑会の恒例行事に参加して頂く事の喜びを感じる事が出来ました。

日々の生活で、改善や見直しをする事はとても大切ですが、同じ事を繰り返していく事も重要と思える今年の夏の行事でした。

九州老健大会

5月24日と25日の2日間、「九州ブロック介護老人保健施設大会」が福岡県の久留米シティプラザで開催されました。公佑会からは、さくら苑リハビリの平水主任が発表者として、さくらの杜の平野施設長が共同演者として参加しました。

発表テーマは「自信意欲が低下した利用者へのアプローチ～心が動けばからだも動く～」とし、ポスタープレゼンテーションという形式で発表しました。発表後は質疑応答があり貴重な意見をいただきました。また、他施設の発表を拝聴する時間もあり、稔りある老健大会となったようです。

10月には全国介護老人保健施設大会が埼玉県で開催されます。入所より介護福祉士の町浦副主任が演者として参加する予定です。

老健大会は1年間のうちに、全国老健大会、九州老健大会、県老健大会があり、発表を見たり、他施設の取り組みを知ることの出来る機会となっています。公佑会でも、業務・教育・研究をモットーに、これからも日々資質向上できるよう努めていきます。

夏祭り

7月28日、第21回さくら苑夏祭りが開催されました。

今年は、準備の途中で曇り空になったり、台風が近づいていたため、天気が気になりましたが、雨に降られることもなく、無事に外で開催することができました。今年も色々な学校からボランティアでご協力をいただき、祭りの運営を手伝っていただきました。

舞台では、ブラスバンドや利用者の歌、太鼓、早飲みなどが行われたり、南九州大学沖縄県人会のエイサーもあり大変盛り上がり、皆さんにも喜んで頂けたようです。屋台も賑わっており、今年は暑かったせいか飲み物などが、よく売れていました。

プログラム最後の連続して打ちあがる花火に歓声が上がり、利用者の方もご家族と一緒に楽しい一時を過ごされ、笑顔が見られていました。

来年も、みなさんの思い出に残るような夏祭りが開催できるように企画していきたいと思います。夏祭りの開催にあたりボランティアの皆様、アトラクションで参加して下さった皆様、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

秋からの感染症に注意！

夏が終わり、過ごしやすい秋がやってきました。しかし、感染症について油断は禁物です。

秋になると気温が下がり始め、湿度も低下します。低温、低湿度を好むウイルスが活発に活動し始めます。また、夏バテの延長や季節の変わり目で身体の準備ができていない事もあり、免疫力が弱って、病気にかかりやすい体質になりがちです。

インフルエンザウイルス、RSウイルス、ノロウイルス等が秋から流行するのはそのためです。ウイルスの感染経路として、咳やクシャミ等での飛沫感染、手すりやタオル等の物体を介したり皮膚や粘膜等の直接的な接触等による接触感染、その他、経口感染等があります。

感染の可能性がある方は、咳やくしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手はただちに洗うようにし、マスクの着用に心がけ、周囲への配慮を行いましょう。インフルエンザは熱が下がった後でもウイルスが体内に残っている事があります。ご自身の体調のためにも、また感染症の流行を拡大させないために、無理して外出せず医師の指示に従いましょう。なお、病院への受診の際にはあらかじめ電話で症状を伝えておく事もお勧めします。また、手洗いやうがいの徹底以外でも人混みを避ける等、油断せず体調を整える事も大切です。食欲の秋や読書の秋など、これからの季節の楽しみを持って寒い冬を乗り切りましょう。

＊編集後記＊

今年の夏も猛暑続きで各地気温が上がり、埼玉県熊谷市は国内最高気温41．1度を観測。報道では「命に危険が及ぶ暑さ」と表現され発信されました。さらに、海水温が高く台風が次々と発生した為、地球の気候の異変を感じさせる夏でした。

さて、今回の広報誌ですが、敬老会、各部署の活動、夏祭り等様々な行事を掲載しております。各部署、趣向をこらした活動となっていますのでその雰囲気が伝わればと思います。この時期になるとすぐそこに年末、年始が近づいている事をひしひしと感じます。

あっという間に時間が過ぎ去って行きますが、それに負けないよう充実した日々を過ごせるよう頑張って行きたいものです。

これから、だんだん寒くなり、体調を崩しやすい季節となりますが、体には十分気をつけて、過ごしていただきたいと思います。

URL http://www.kyk.or.jp
※Facebookは公佑会のホームページよりお入り下さい。